

新品種・新技術の確立支援事業

「サラサラごんぼ」栽培マニュアル

福岡県農林水産部経営技術支援課

令和2年3月

I 栽培

1 品種特性

- ・福岡県農林業総合試験場で、品質が良い「渡辺早生」と低温伸長性に優れる「てがる」の雑種後代の中から育成され、平成27年9月に品種登録された。
- ・トンネル被覆しなくても冬春どりが可能であるため、省力的栽培ができる。
- また、厳寒期に葉柄が消失せず、そのまま残るため、外観が良い。
- ・品質は、根は白く柔らかい。アクは少なく、水にさらす必要がない。
- ・若掘りゴボウである短根系ゴボウ栽培向け品種であるが、トレンチャー等で深耕することにより、長根系ゴボウ栽培に利用できる。

※出荷規格 短根系ゴボウ：25 cm以上、長根系ゴボウ：40 cm以上

サラサラごんぼの外観および食味評価（平成23年）

		根の 白さ	香り	軟ら かさ	甘味	えぐみの 少なさ	総合 評価
冬どり	評価値	0.6	0	0.6	0.6	0.3	0.8
	有意性	**	ns	**	**	+	**
春どり	評価値	0.5	-0.2	0.7	0.3	0.2	0.4
	有意性	**	ns	**	ns	ns	ns

※ 「渡辺早生」を基準に評価。

**と * および + はそれぞれ t検定により1%と5%および10%水準で有意差あり。nsは10%水準で有意差なし。

2 作型

- ・12月～5月まで連続出荷するための作型構成表

出荷規格・作型		8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月			4月			5月						
		上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下				
短根系 (25 cm)	年内～2月出し (種子吸水処理)			○	○	○	○	---	---	---	---	---	---	◆	◆	◆	◆	◆	◆																
	3～4月だし (種子冷蔵処理)			☆	-	☆	○	---	---	---	---	---	---	∩								◆	◆	◆				◆	◆	◆				◆	◆
長根系 (40 cm)	4～5月だし (種子冷蔵処理)					☆	-	☆	○	---	---	---	---	---	---	∩							∩				◆	◆	◆				◆	◆	◆
	5月出し (種子吸水処理)							○	○	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---		

注) ○：播種、◆：収穫、☆：種子冷蔵処理、∩：トンネル被覆

3 栽培管理

(1) 本ぼ準備

- ・排水性が良く、有機質に富み耕土が深く、小石や粗大な有機物が少ないほ場を選定する。

(2) 基肥

- ・マルチ栽培では緩効性肥料を用い、全量基肥施用とする。

(例1) 短根系ゴボウ栽培の場合

(kg/10a)

肥料名	施肥量	成分量		
	基肥	N	P ₂ O ₅	K ₂ O
炭酸苦土石灰	160			
発酵鶏ふん (2-6-3)	200	4.0	12.0	6.0
BMようりん (0-20-0)	40		8.0	
CDUS555 (15-15-15)	140	21.0	21.0	21.0
合計		25.0	41.0	27.0

(例2) 長根系ゴボウ栽培の場合

(kg/10a)

肥料名	施肥量	成分量		
	基肥	N	P ₂ O ₅	K ₂ O
苦土石灰	140			
くみあい被覆化成L30 (10-10-10)	130	13.0	13.0	13.0
鶏糞	150			
FTE	3			
合計		13.0	13.0	13.0

(3) 耕起・畝立て

- ・基肥を投入後、耕起、畝立てを行う。
- ・短根系栽培の場合は高畝 35~40cm にする。
- ・長根系栽培の場合はトレンチャーで深耕する。またロータリーで4~5回入念に深耕する。
- ・栽植様式(例)は下記のとおり。

	畝幅	条数	条間	株間	10a 当り株数	シーダーテープ
①短根系	170cm	4条	17cm	6cm	約 40,000 株	2,400 m
②短根系	90cm	2条	15cm	5cm	約 45,000 株	2,250 m
③長根系	130cm	2条	60cm	5cm	約 30,000 株	1,500 m

(4) 種子処理

- ・ 吸水処理：発芽揃いのため、種子を12時間吸水させる。
- ・ 冷蔵処理：発芽揃い向上と低温期の生育促進のため、種子を12時間吸水後、4℃で20～30日間低温処理する。ただし、35日間以上処理すると、低温でも発芽するので注意する。

(5) は種～マルチ張り

- ・ シーダーテープは、水に溶けないタイプを使用し、1穴1粒で栽植様式(例)を参考に必要な長さを準備する。(1ロール500m巻)
- ・ 年内出し～2月出しは白黒ダブルマルチ、3月出し以降は黒マルチを使用する。
- ・ 機械化体系の場合は、成形ロータリーによる畝立て、シーダーテープによるは種、マルチ被覆を同時に行うことになるので、事前に資材等を準備する。
- ・ は種後は、直ちに除草剤を散布する。
- ・ 乾燥が続く場合は、かん水を行う。

(6) 除草

- ・ マルチの穴から雑草が発生した場合は、雑草が小さく抜きやすい時期に手取り除草を行う。

(7) トンネル被覆

- ・ 厳寒期の生育促進のためにトンネル被覆が必要な場合は、12月下旬に行う。
- ・ トンネル管理は、寒い日は密閉しておく。ただし、2月下旬～3月の晴天時は換気を行い(30℃以上にしない)、高温による葉焼けに注意する。
- ・ トンネル除去は3月中下旬とし、除去遅れによる過繁茂に注意する。

(8) 収穫

- ・ 試し掘りをして、畝ごとに一斉に収穫する。
- ・ 茎葉を草刈り機で切り落とし、マルチを剥ぐ。
- ・ 掘り取り機を利用する。
- ・ 収穫後、根部を乾かさないう古布等をかぶせておき、早めに持ち帰る。

(9) 調整・出荷

- ・ 調整を始めるまで、水につけておく。
- ・ 泥を落とし、ひげ根とりを行う。
- ・ 水に2～3時間程度浸し、調製作業時は、根首の部分を特に注意して洗う。また、洗浄中は空気に触れないように水中で行うと変色が少ない。
- ・ 調整後、自然乾燥させ、出荷規格に応じて袋詰め・箱詰めを行い、出荷する。

4 作業工程 (写真提供：朝倉普及指導センター)

(1) ほ場準備



シーダーテープ 4本
(750m/本)
4穴マルチ
(幅2m×180m)
畝 幅：170cm
株 間：6~7cm
畝の高さ：40cm



作業時間：3時間/10a
作業人数：2名
(機械操作 1名、畝端処理 1名)

(2) 収穫作業



畝を崩しながら、根切り、抜き取り
1畝(100m)収穫するのに
4人で2時間 → 12時間×4人/10a

(3) 調整作業





短根系ゴボウ：「博多新ごぼう」

